

令和4年度子どもの貧困対策に係る実態調査
調査結果について

令和5年3月17日

京都府教育委員会

目 次

P. 1・2	令和4年度 子どもの貧困対策に係る実態調査の実施について
P. 3	令和4年度 子どもの貧困対策に係る実態調査 調査結果について
	1 全国学力・学習状況調査（学力テスト）の状況
P. 4～7	2 質問紙調査の回答状況
	（1）貧困世帯と府全体の回答状況の比較
P. 8～10	（2）学力A層とD層の回答状況の比較
P. 11	3 健康診断調査の状況
	（1）肥満傾向児の割合
	（2）う歯（むし歯）がある児童生徒の割合（処置の状況別）
P. 12	4 中学校3年生の進路状況
	（1）高等学校等への進学率の年次推移
	（2）課程別進学率の年次推移
P. 13～19	大阪公立大学大学院 五石 敬路 准教授による分析

令和4年度 子どもの貧困対策に係る実態調査の実施について

1 調査対象

要保護・準要保護・ひとり親家庭の児童生徒（小学6年生、中学3年生）

2 調査校

府内公立小中学校から抽出した小中各20校で実施（計40校）

3 調査項目

調査項目		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
全国学力・学習状況調査(小学6年・中学3年) (※1)	学力問題 正答数 (国、算・数)	○	○ 理を含む	○ 英を含む		○
	子どもの 生活状況	○	○	○		○
健康診断調査 (※2)	体格(身長・体重) う歯(有無、処置状況)	○	○	○	○	○
中学校卒業生徒の進路状況 (※3)		○	○	○	○	○ 令和4年3月卒業

▶ (※1)については、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果、(※2)については、令和3年度小学6年生及び中学3年生の健康診断調査測定値を本調査の対象とする。

▶ (※3)については、要保護・準要保護家庭の生徒を対象としては悉皆調査を実施済みであり、抽出校調査ではひとり親家庭の生徒のみを対象に実施する。

4 子どもの生活状況調査項目

(令和3年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙より)

1 生活習慣について
◇ 朝食を毎日食べている。 ◇ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 ◇ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
2 自尊心・将来の展望について
◇ 自分には、よいところがあると思う。 ◇ 将来の夢や希望を持っている。
3 非認知能力（自己管理能力・粘り強さ）について
◇ 自分で計画を立てて勉強をしている。 ◇ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。
4 家庭環境・学習時間について
◇ 家には、およそどれくらいの本があるか。（※4） ◇ 学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか。
5 地域や社会等への関心について
◇ 今住んでいる地域の行事に参加している。 ◇ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある。
6 新型コロナウイルスによる臨時休業について
令和2年の4～5月頃（多くの学校が臨時休業していた時期）について ◇ 勉強について不安を感じた。（※4） ◇ 計画的に学習を続けることができた。（※4） ◇ 規則正しい生活を送っていた。（※4）

(14項目)

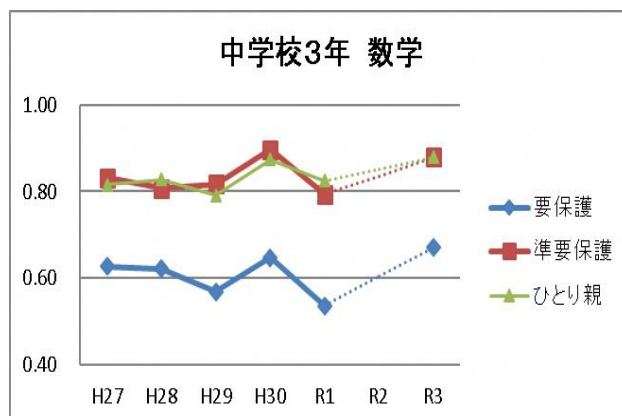
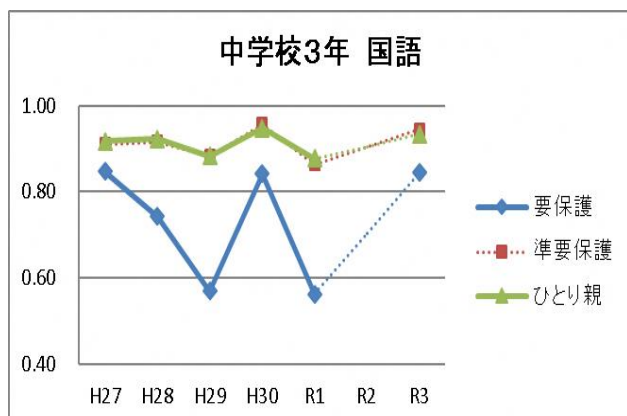
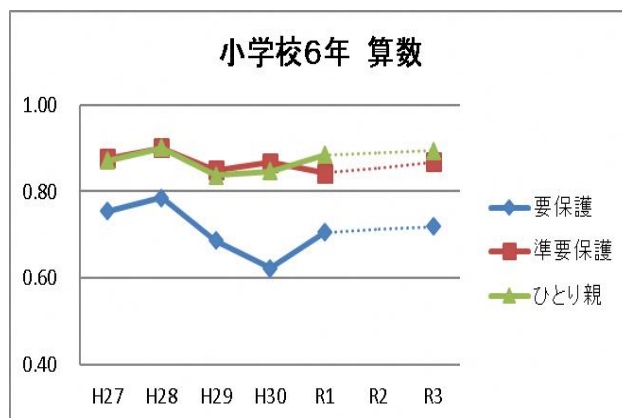
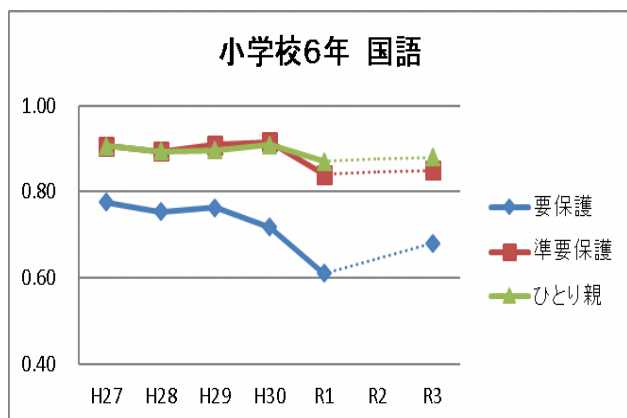
▶ (※4)については、令和3年度全国・学力学習状況調査の質問紙における、質問項目の変更に伴い、一昨年度の本調査から4項目変更した。

令和4年度 子どもの貧困対策に係る実態調査 調査結果について

※ 小中各 20 校を抽出し、前年度の小 6 及び中 3 を対象とした調査。

平成 26 年度から令和元年度の調査は同一の抽出校で実施。令和 2 年度の調査から、抽出校を変更している。

1 全国学力・学習状況調査（学力テスト）の状況 （府全体の平均正答数を 1 とした指数による比較の年次推移）



令和 2 年度全国学力・学習状況調査は中止

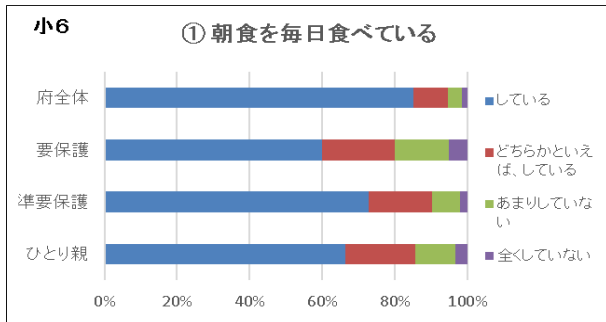
※ 全国学力・学習状況調査における、教科に関する調査について、以前は、「国語 A・B」「算数（数学） A・B」が実施されていたが、平成 31（令和元）年度は、A・Bの区別がなくなり、「国語」「算数（数学）」が実施された。そのため、上記グラフの平成 27～30 年度の指数は、平均正答数 を基に算出した。

「要保護」「準要保護」「ひとり親」の児童生徒の正答数は、どの校種、教科とも「府全体」より低い状況である。「府全体」との差に注目すると、「要保護」が「準要保護」及び「ひとり親」より大きい状況で、依然として家庭の経済状況は子どもの学力に大きく影響している。

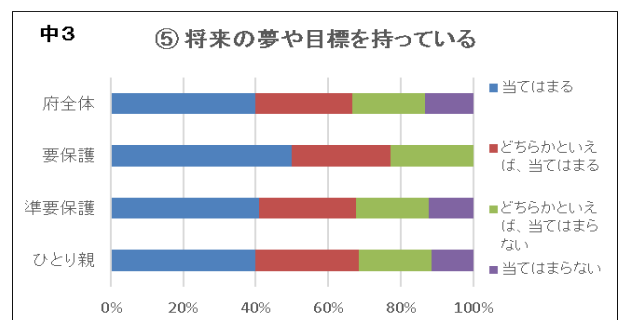
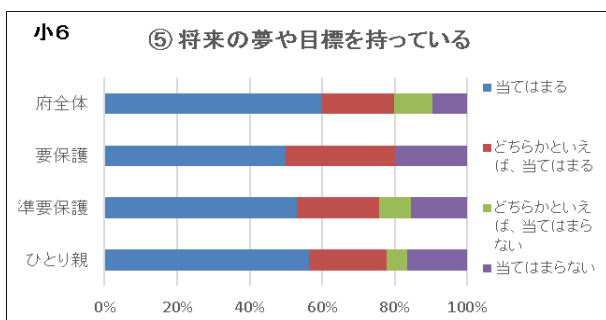
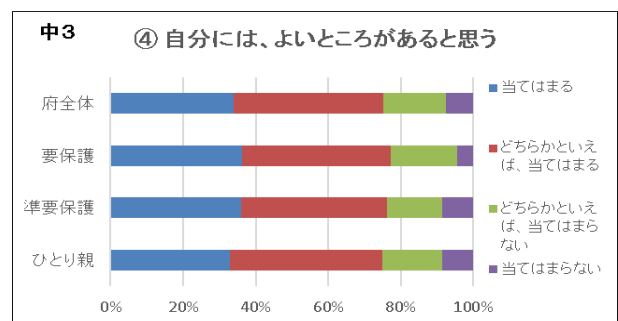
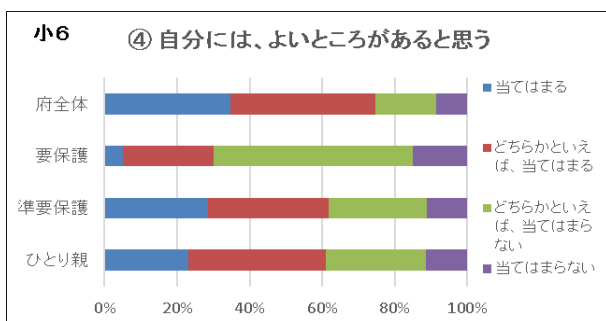
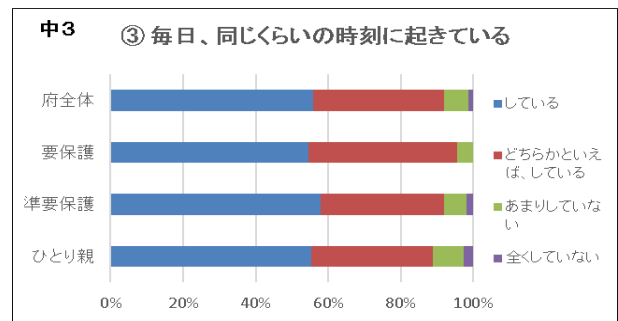
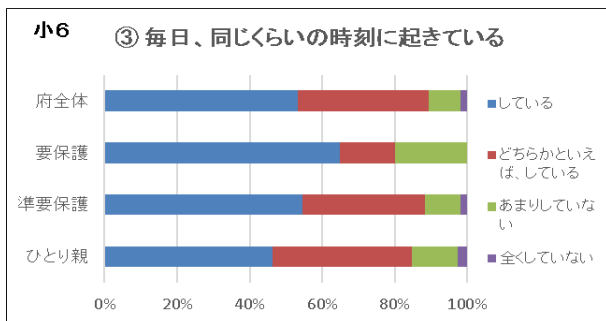
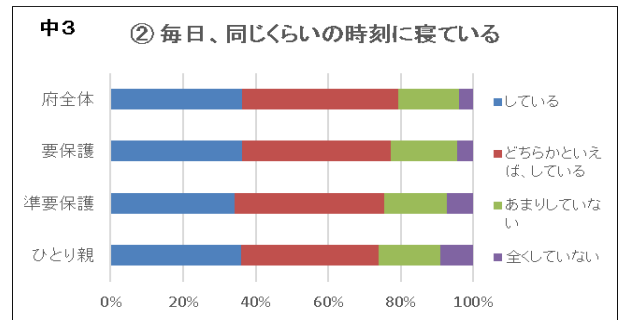
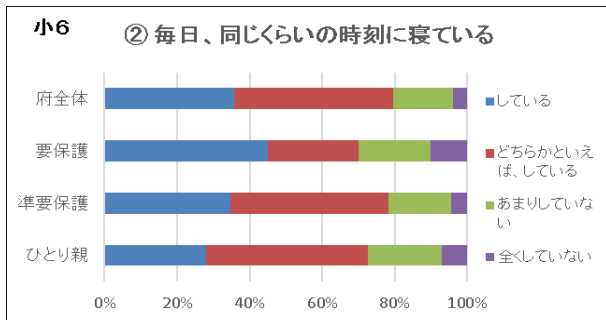
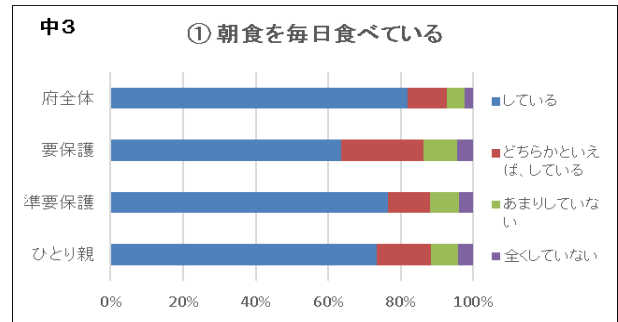
2 質問紙調査の回答状況 令和3年度の小学6年生・中学3年生

(1) 貧困世帯と府全体の回答状況の比較

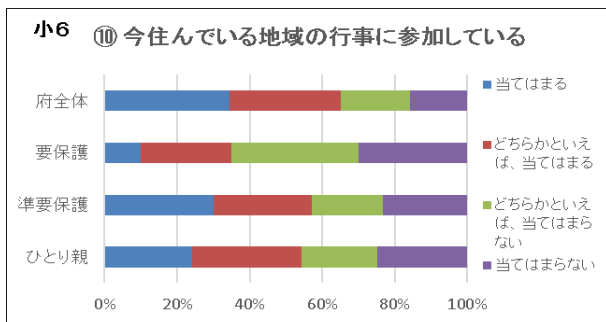
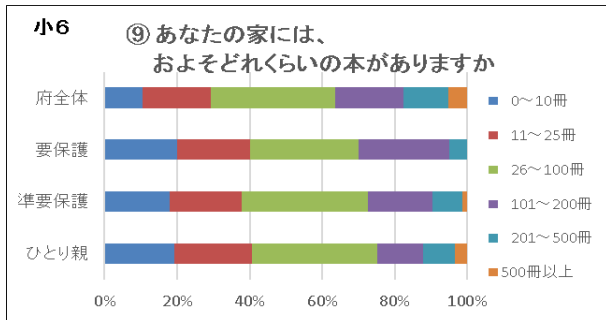
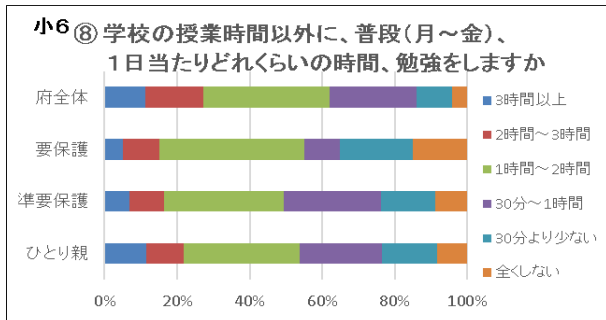
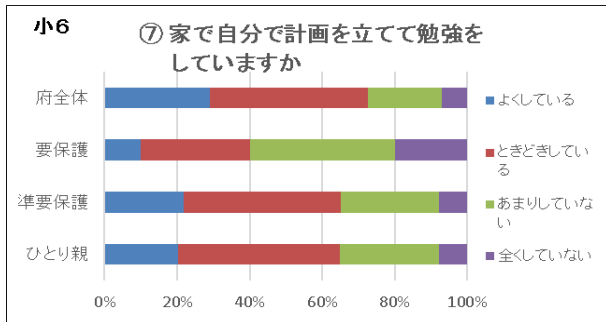
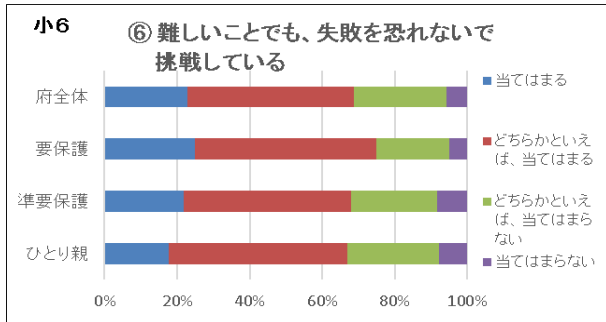
小学校6年



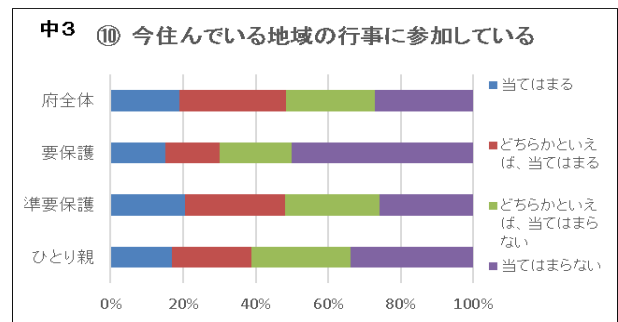
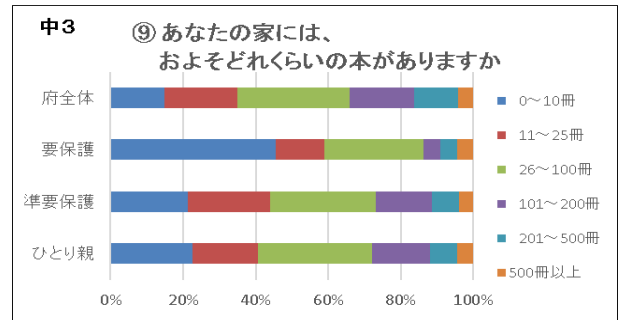
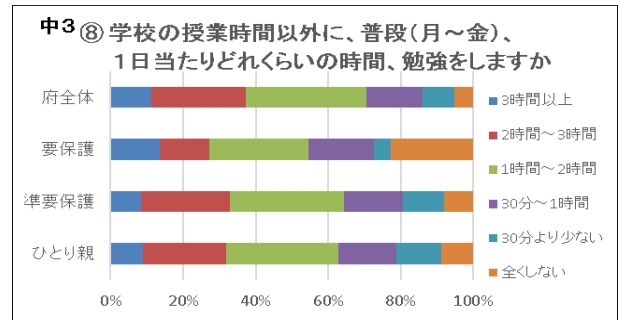
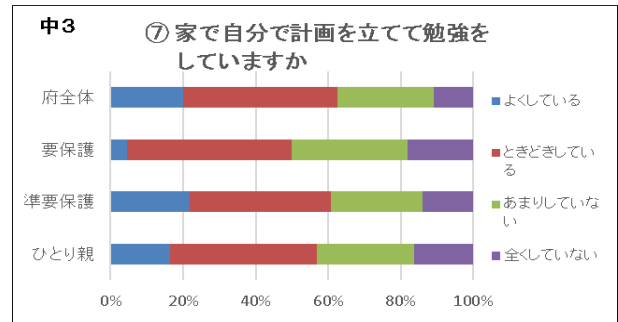
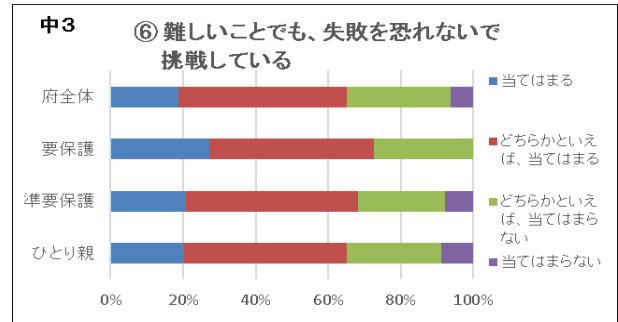
中学校3年



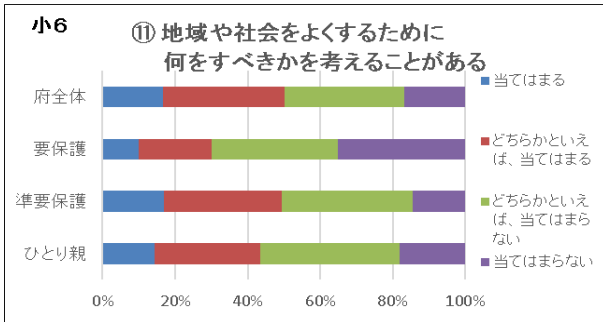
小学校6年



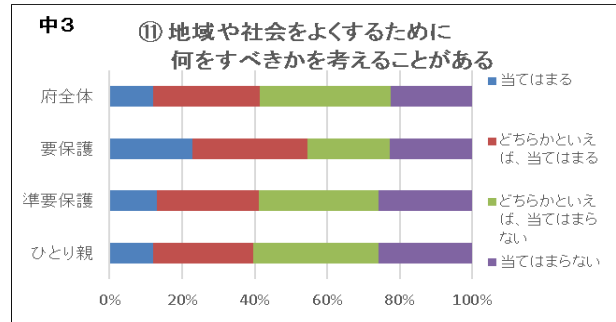
中学校3年



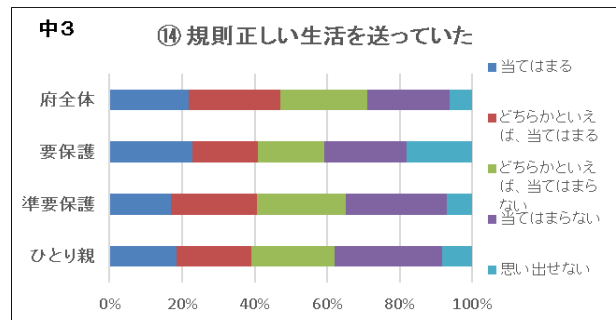
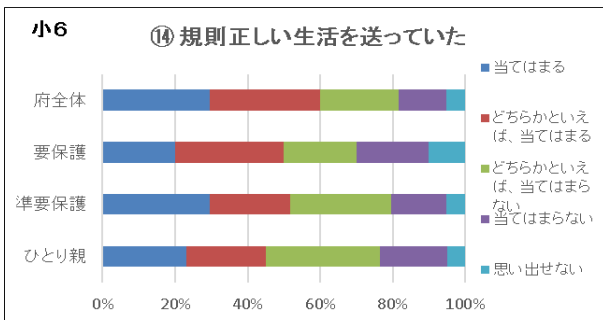
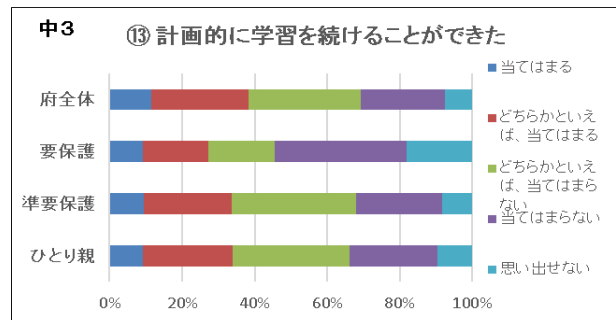
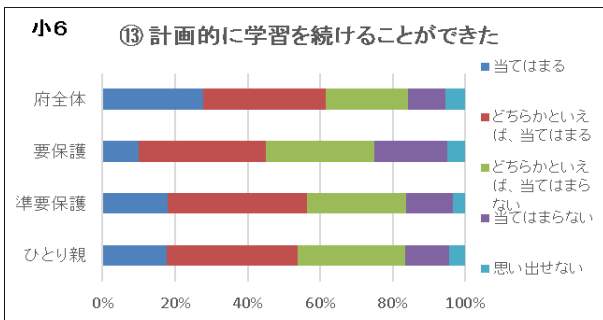
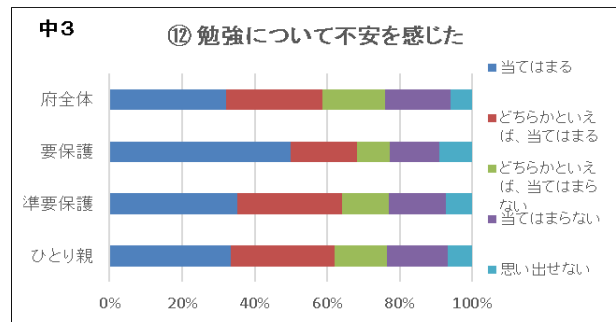
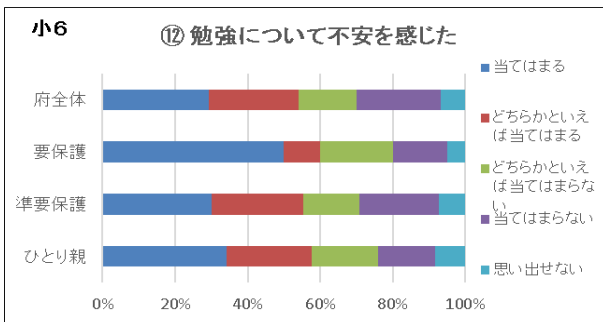
小学校 6年



中学校 3年



令和2年の4～5月頃（多くの学校が臨時休業していた時期）について



「府全体」と、「要保護」「準要保護」「ひとり親」の肯定的な回答（グラフの青い部分と赤い部分の合計。ただし、『あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。』を除く。）を比較すると、「要保護」に大きな相違が見られる項目が多い。

生活規律に関する『朝食を毎日食べている。』『毎日、同じくらいの時刻に寝ている。』『毎日、同じくらいの時刻に起きている。』について、特に小6において、「要保護」が「府全体」を下回っている傾向がある。

勉強量に関する『家で自分で計画を立てて勉強していますか。』『学校の授業以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。』について、「要保護」が「府全体」を下回っている傾向がある。

そのためか、令和2年の4～5月頃（多くの学校が臨時休業していた時期）について、『計画的に学習を続けることができた。』『規則正しい生活を送っていた。』についても、「要保護」が「府全体」を下回っている。

また、『今住んでいる地域の行事に参加している。』について、「要保護」が「府全体」を下回っている。『あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。』について、0～10冊と回答している割合が、「要保護」は「府全体」よりも高い。

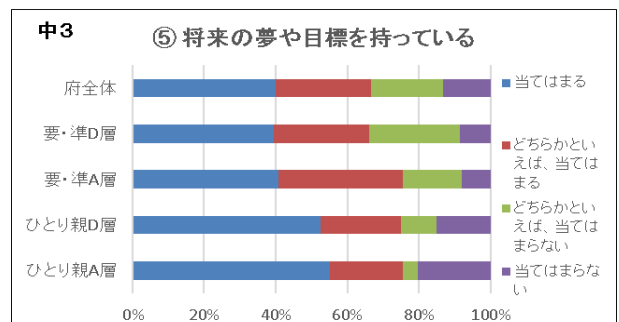
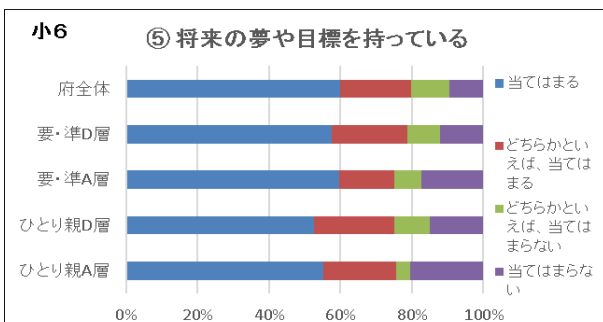
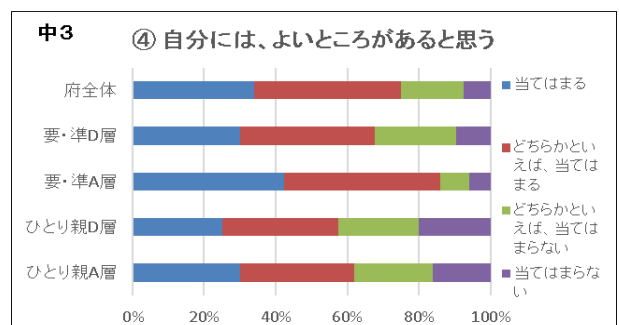
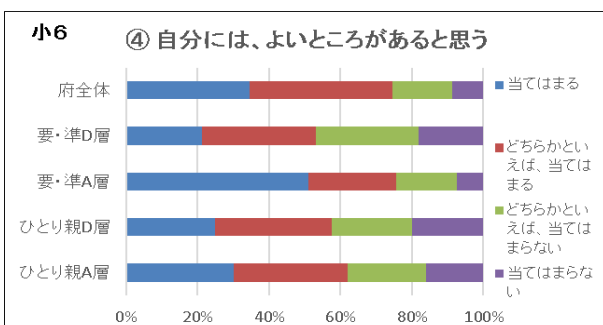
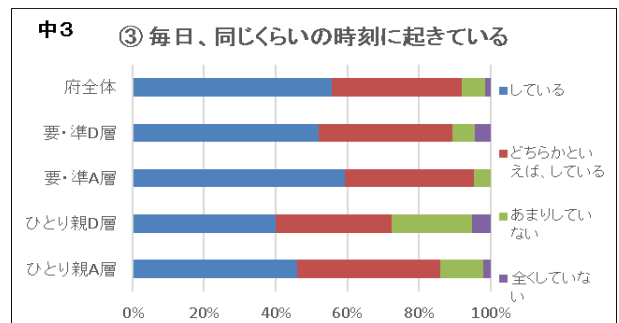
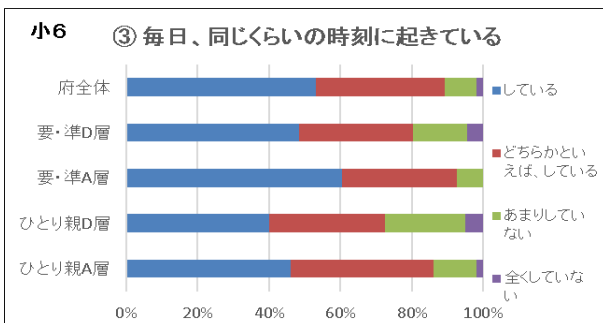
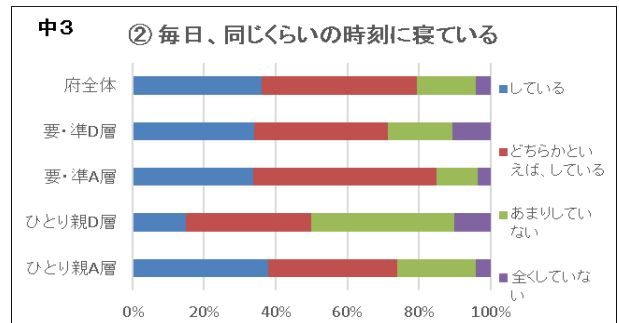
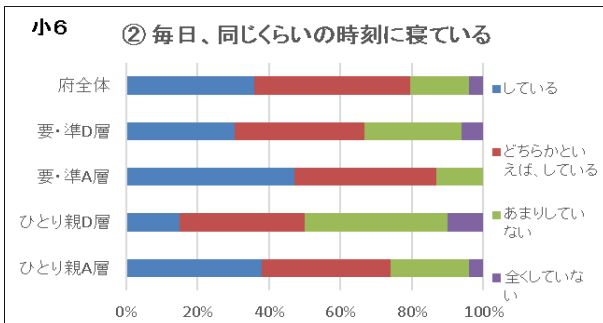
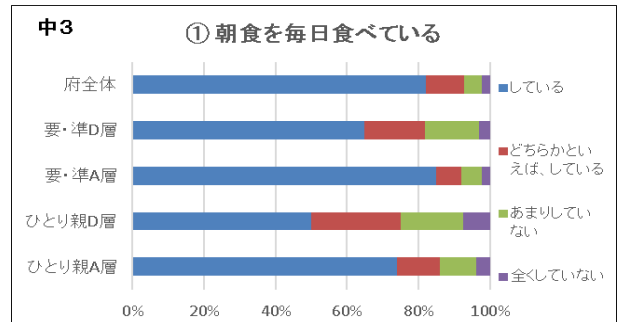
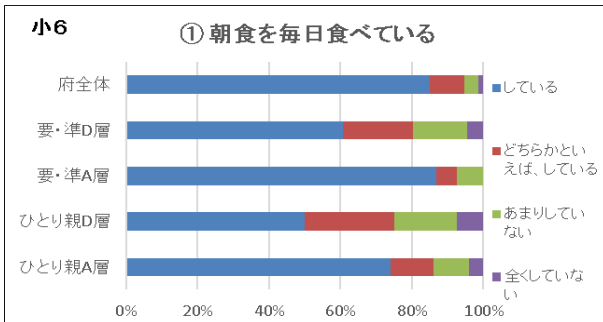
一方で、中3の『自分には、よいところがあると思う。』、小6・中3の『将来の夢や目標を持っている。』『難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。』については、「要保護」が「府全体」を上回っており、「準要保護」「ひとり親」よりも高い。

(2) 学力A層とD層の回答状況の比較（令和3年度 小6・中3）

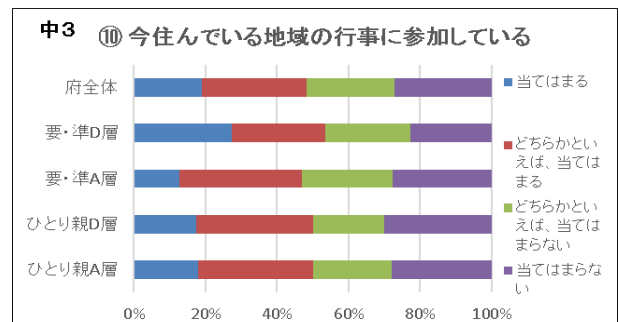
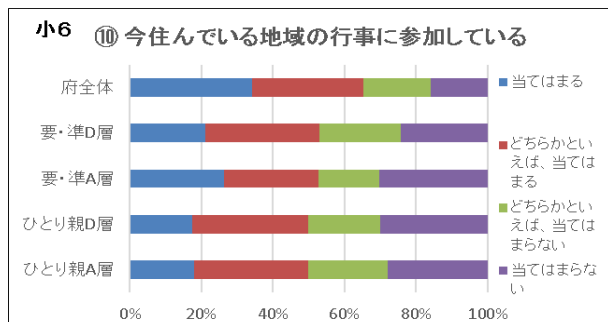
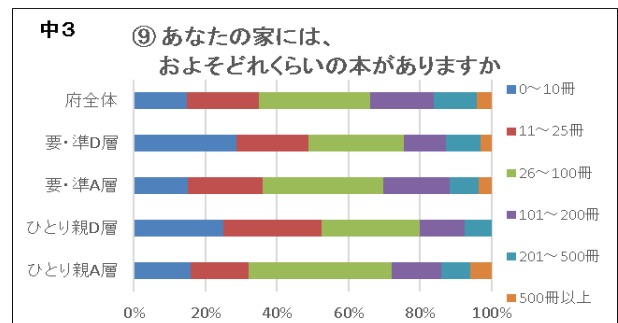
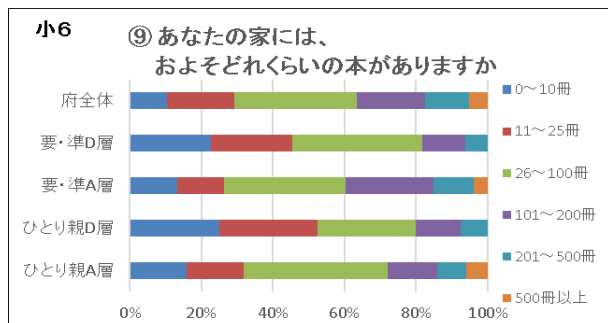
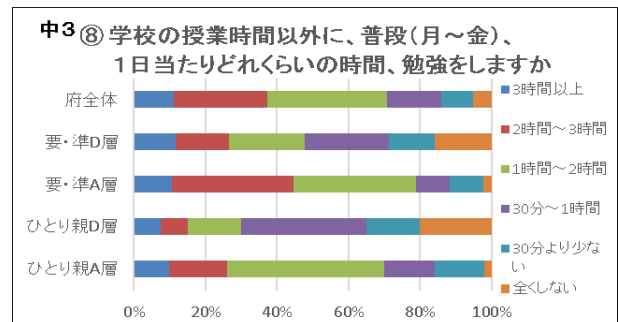
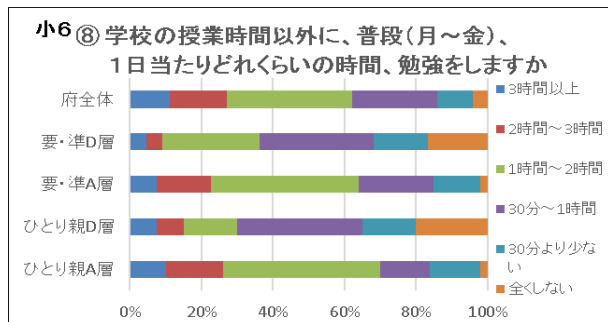
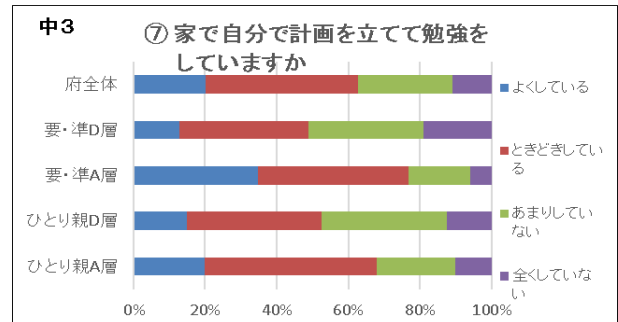
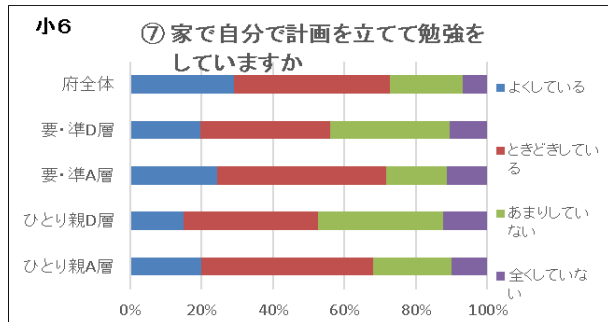
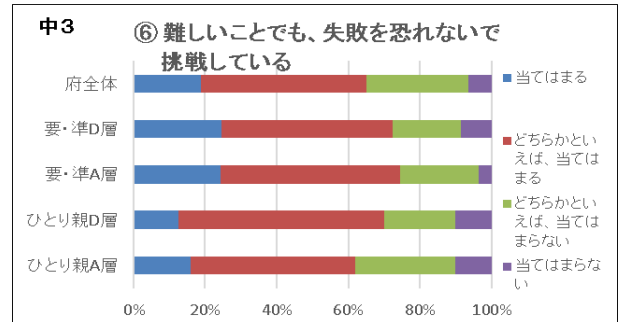
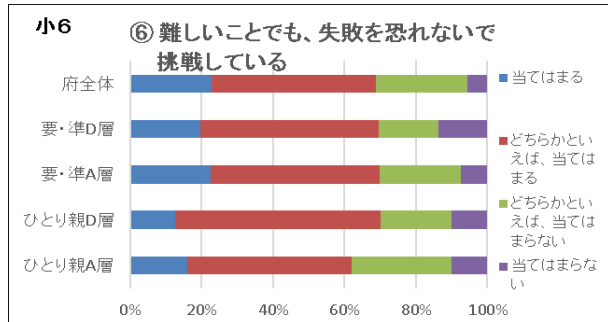
※学力調査の上位25%をA層、下位25%をD層とする

小学校6年

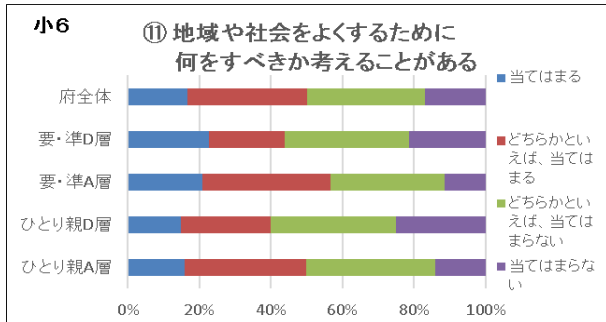
中学校3年



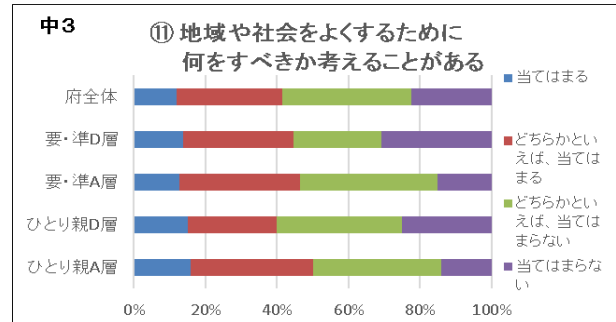
小学校6年



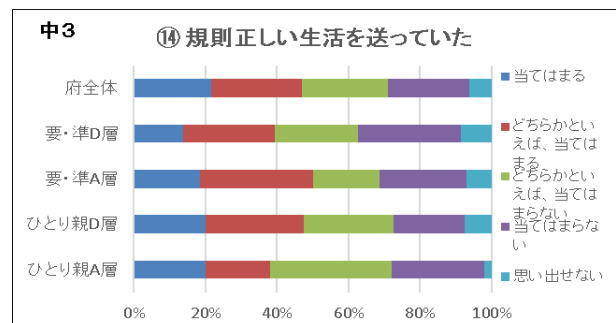
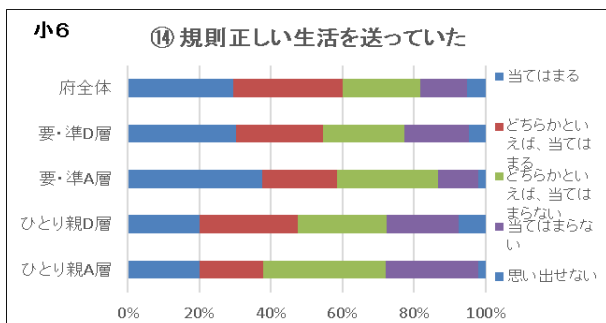
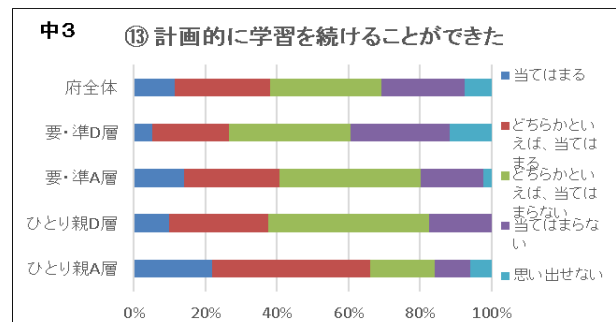
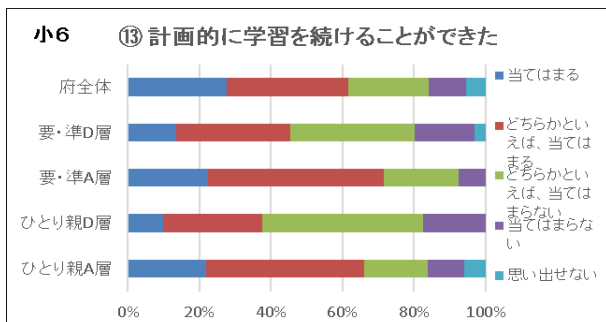
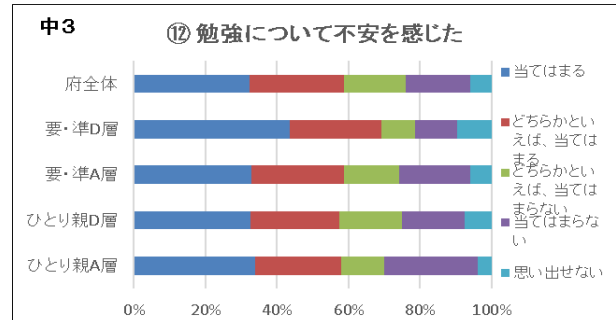
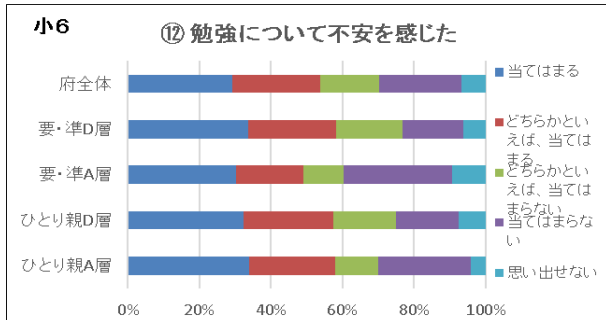
小学校 6年



中学校 3年



令和2年の4～5月頃（多くの学校が臨時休業していた時期）について



「要保護・準要保護」「ひとり親」について、学力層に着目して「府全体」と比較してみると、「要保護・準要保護」のA層は、多くの項目で「府全体」との相違は見られず、いくつかの項目では「府全体」を上回っている。

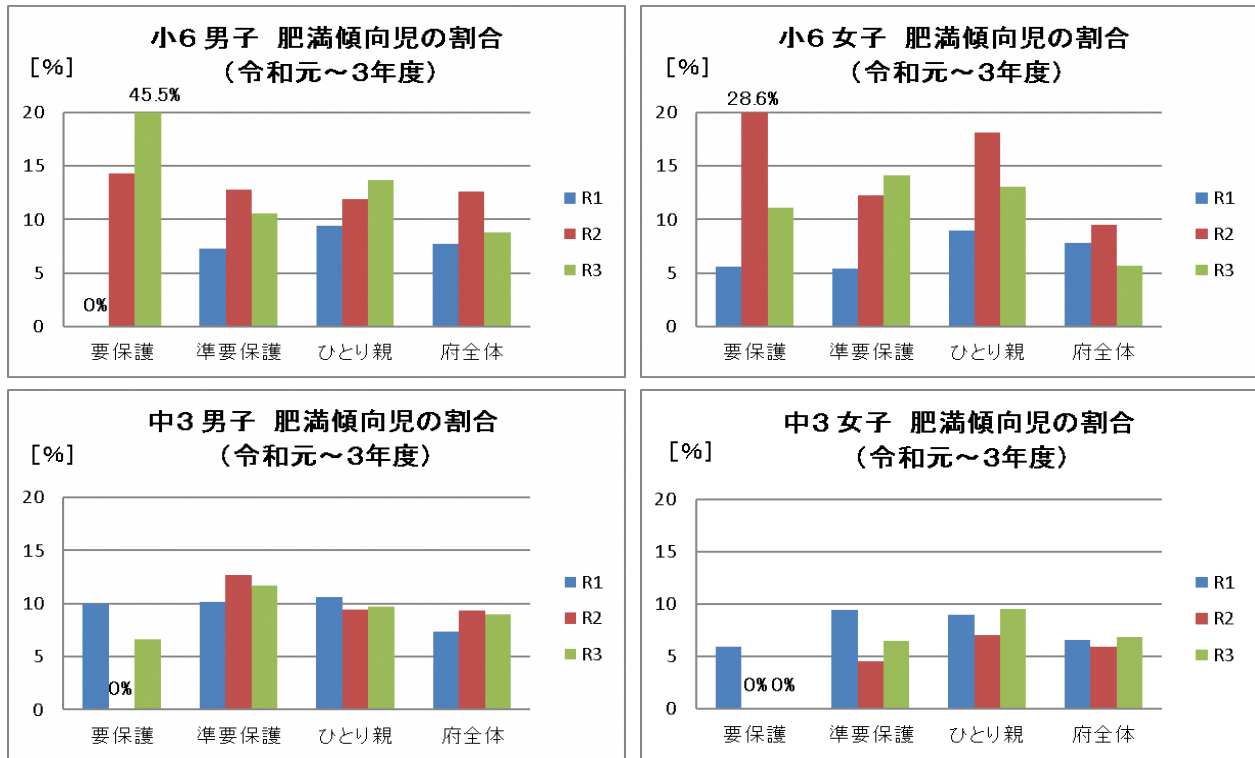
小6・中3の『あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか。』『学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。』、小6の『自分には、よいところがあると思う。』、中3の『朝食を毎日食べている。』『将来の夢や目標を持っている。』においては、学力テストの結果との相関関係が見られた。*

また、令和2年の4～5月頃（多くの学校が臨時休業していた時期）について、A層よりもD層の児童生徒の方が、『勉強に関して不安を感じた。』という傾向が見られた。

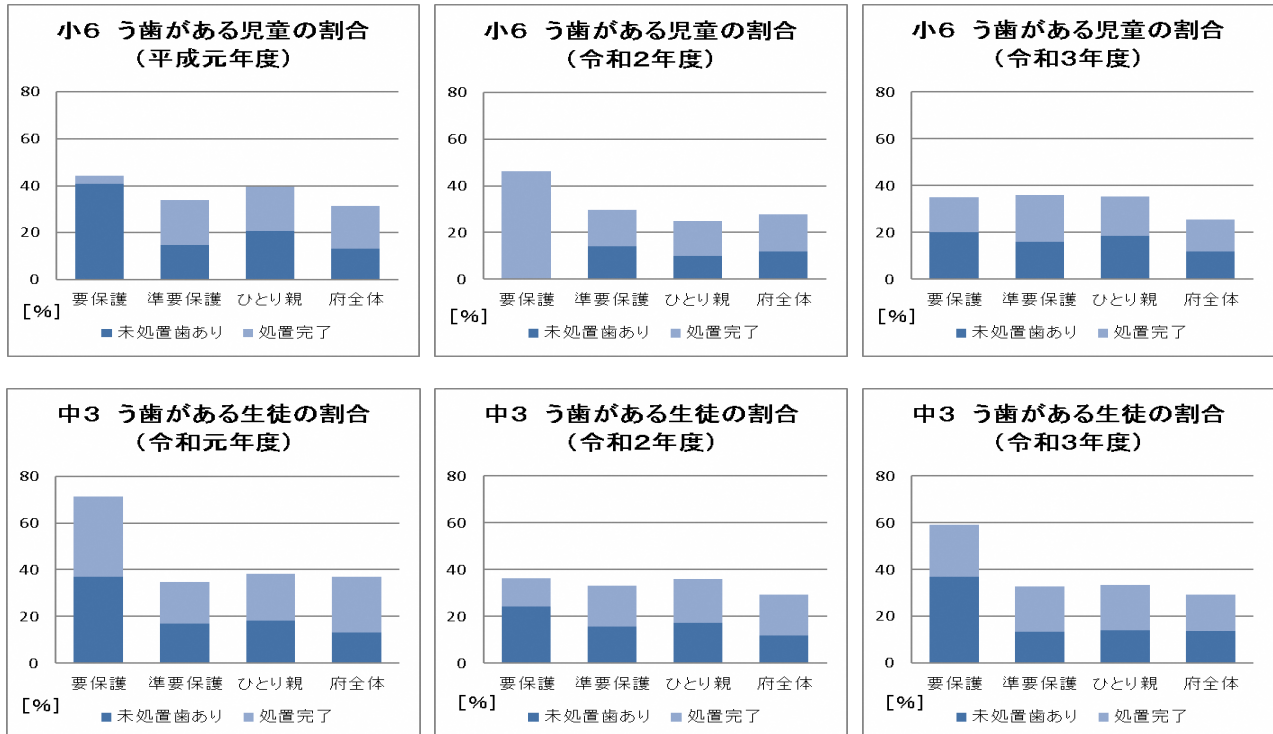
※大阪公立大学大学院都市経営研究科 五石 敬路 准教授による分析より

3 健康診断調査の状況

(1) 肥満傾向児の割合



(2) う歯（むし歯）がある児童生徒の割合（処置の状況別）

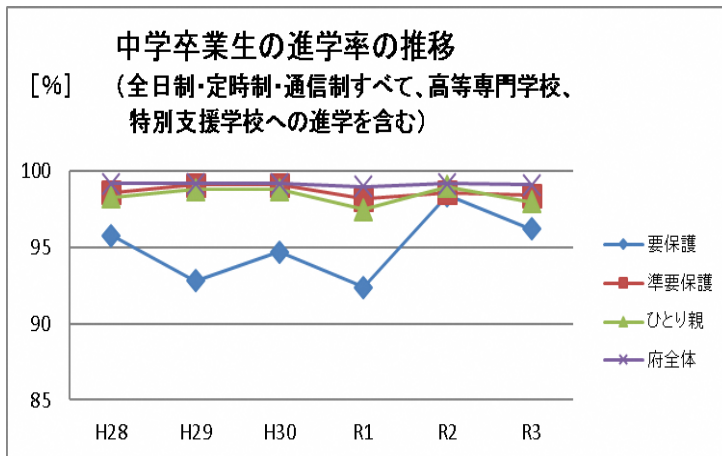


肥満傾向児の割合は年度によって違いはあるが、小6の「要保護」「準要保護」「ひとり親」に「府全体」よりも高い傾向が見られる。

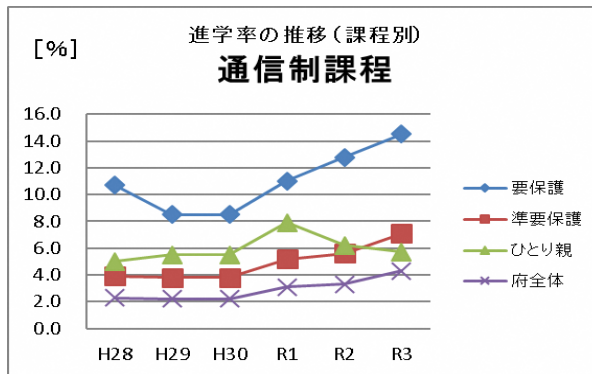
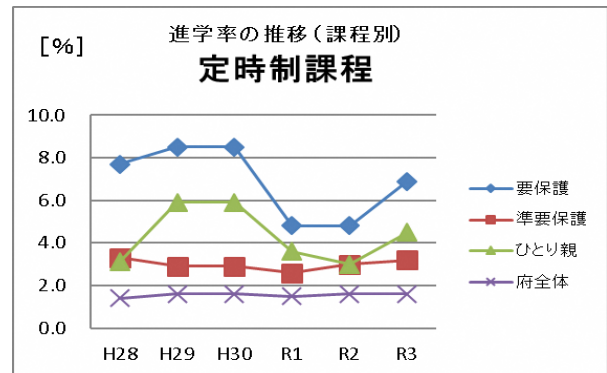
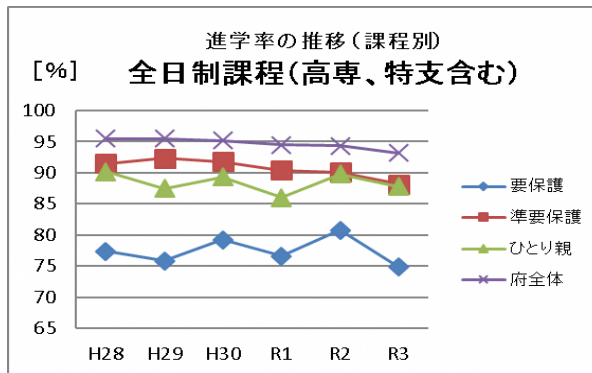
う歯（むし歯）がある児童生徒の割合は、中3の「要保護」に「府全体」よりも高い傾向が見られ、未処置歯がある割合も中3の「要保護」は「府全体」よりも高い。

4 中学校3年生の進路状況

(1) 高等学校等への進学率の年次推移



(2) 課程別進学率の年次推移



中学校卒業後に高等学校等の上級学校に進学する割合は、「府全体」より「要保護」「準要保護」「ひとり親」の方が低い状況にある。「準要保護世帯」「ひとり親世帯」については、「府全体」とほとんど差はないが、「要保護世帯」と「府全体」との差は大きい。

課程別では、「要保護」「準要保護」「ひとり親」は、「府全体」に比べて全日制への進学率が低く、定時制及び通信制への進学率が高い傾向にあり、「要保護」にもっともよく表れている。

分析結果のまとめ

1. 依然として家庭の経済状況は子どもの学力に大きく影響している。
2. 自尊心等の非認知能力、生活規律、健康状態も学力水準の決定要因として依然として重要である。
3. 平成 25 年度以降、要保護、準要保護の世帯の子ども達の学力は全体として良くなったとも悪くなったとも言えない。
4. 中学校卒業生徒の進路先として、要保護家庭の子どもの全日制高校への割合は年々低下傾向にある一方、通信制の割合が上昇傾向にある。

困難な状況に置かれている児童生徒への支援のために必要と思われる施策

1. 子ども自身だけでなく、家庭、コミュニティ、学校への支援が必要。限られた資源を有効に活用するため、特定のコミュニティや学校に重点的な支援を行うことを検討すべきではないか。
2. 要保護世帯の子どもの中学校卒業生徒の進路先として、全日制の代わりに通信制の選択が増えている現状について、子どもの将来にどのように影響するかの調査および評価が必要ではないか。
3. 不登校の子どもへの教育、進路相談、卒業後の支援をさらに積極的に行うべきではないか。

【参考】

義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律

(学校以外の場における学習活動等を行う不登校児童生徒に対する支援)

第十三条 国及び地方公共団体は、不登校児童生徒が学校以外の場において行う多様な適切な学習活動の重要性に鑑み、個々の不登校児童生徒の休養の必要性を踏まえ、当該不登校児童生徒の状況に応じた学習活動が行われることとなるよう、当該不登校児童生徒及びその保護者（学校教育法第十六条に規定する保護者をいう。）に対する必要な情報の提供、助言その他の支援を行うために必要な措置を講ずるものとする。

詳細分析結果

【表1】学力テスト結果を目的変数とした回帰分析の結果より、統計的に有意であった変数をまとめたもの。「かなり関係がある」は1%水準で有意、「やや関係がある」は3%水準で有意、「関係がある」は5%水準で有意。子どもの家庭の経済水準（要保護、準要保護、Q22）、生活規律（Q1）、自尊心（Q6、Q7）、勉強量（Q18）等が有意となっている。

【表2】小学6年生の学力テスト結果を目的変数とした回帰分析の結果。

【表3】中学3年生の学力テスト結果を目的変数とした回帰分析の結果。要保護、準要保護については有意にならなかった。

【表4】子どもの生活状況調査項目の因子分析結果、因子（潜在変数）を構成する項目を整理したもの。因子分析は各調査項目の背後にある共通した因子を抽出するもので、ここでは、【生活規律】、【勉強量】、【自尊心】、【コロナ禍（での生活の変化）】が見出された。

【表5】小学6年生の子どもの生活状況調査項目の因子分析結果（推定法：尤度推定、回転：オブリミン回転）。

【表6】中学3年生の子どもの生活状況調査項目の因子分析結果（推定法：尤度推定、回転：オブリミン回転）。

表1：学力テスト結果を目的変数とした回帰分析のまとめ

	小学6年生	中学3年生
かなり関係がある	<ul style="list-style-type: none"> ●要保護 ●あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか (Q22) 	<ul style="list-style-type: none"> ●朝食を毎日食べている (Q1) ●あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか (Q22) ●肥満傾向の割合
やや関係がある	<ul style="list-style-type: none"> ●準要保護 	<ul style="list-style-type: none"> ●将来の夢や目標を持っている (Q7)
関係がある	<ul style="list-style-type: none"> ●自分には、よいところがあると思う (Q6) ●学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの間、勉強をしますか (Q18) 	<ul style="list-style-type: none"> ●学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの間、勉強をしますか (Q18)

表 2 : 学力テスト結果を目的変数とした回帰分析 (小学6年生)

	係数 (標準誤差)	有意度
要保護	-7.98 (2.24)	***
準要保護	-3.17 (1.27)	**
Q1	-0.73 (0.74)	
Q2	-0.93 (0.70)	
Q3	-0.38 (0.80)	
Q6	-1.27 (0.59)	*
Q7	0.59 (0.49)	
Q9	0.10 (0.64)	
Q17	0.49 (0.70)	
Q18	-1.01 (0.46)	*
Q22	1.42 (0.40)	***
Q24	0.09 (0.47)	
Q25	-0.22 (0.57)	
肥満	-0.55 (1.54)	
虫歯	-0.28 (0.67)	
決定係数	0.38	

表 3 : 学力テスト結果を目的変数とした回帰分析 (中学 3 年生)

	係数 (標準誤差)	有意度
要保護	-3.83 (2.24)	
準要保護	-0.21 (1.07)	
Q1	-1.53 (0.57)	***
Q2	0.36 (0.57)	
Q3	-0.71 (0.66)	
Q6	-0.52 (0.50)	
Q7	1.06 (0.44)	**
Q9	0.75 (0.56)	
Q17	-0.86 (0.54)	
Q18	-0.79 (0.36)	*
Q22	0.92 (0.32)	***
Q24	0.62 (0.43)	
Q25	-0.26 (0.48)	
肥満	-4.80 (1.48)	***
虫歯	0.18 (0.65)	
決定係数	0.19	

表4：子どもの生活状況調査項目の因子分析結果（まとめ）

	小学6年	中学3年
第1因子	<p>【生活規律】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●毎日、同じくらいの時刻に寝ている (Q2) ●毎日、同じくらいの時刻に起きている (Q3) 	<p>【生活規律】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●朝食を毎日食べている (Q1) ●毎日、同じくらいの時刻に寝ている (Q2) ●毎日、同じくらいの時刻に起きている (Q3)
第2因子	<p>【勉強量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (Q17) ●学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (Q18) 	<p>【勉強量】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●将来の夢や目標を持っている (Q7) ●家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (Q17) ●学校の授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか (Q18)
第3因子	<p>【自尊心、コロナ禍生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分には、よいところがあると思う (Q6) ●難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している (Q9) ●計画的に学習を続けることができた (Q65) ●規則正しい生活を送っていた (Q66) 	<p>【自尊心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分には、よいところがあると思う (Q6) ●難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している (Q9) ●地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある (Q25)
第4因子	<p>【自尊心】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●将来の夢や目標を持っている (Q7) 	<p>【コロナ禍生活】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●計画的に学習を続けることができた (Q65) ●規則正しい生活を送っていた (Q66)

表5：子どもの生活状況調査項目の因子分析結果（因子負荷量）：小学6年生

	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	共通性
朝食を毎日食べている (Q1)	0.20	0.27	0.11	0.05	0.21
毎日、同じくらいの時刻に寝ている (Q2)	0.41	0.04	0.27	-0.11	0.35
毎日、同じくらいの時刻に起きている (Q3)	1.00	-0.01	-0.01	0.02	1.00
自分には、よいところがあると思う (Q6)	-0.04	0.00	0.51	0.19	0.32
将来の夢や目標を持っている (Q7)	0.03	0.03	0.02	0.70	0.51
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している (Q9)	-0.02	-0.14	0.56	0.10	0.27
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (Q17)	-0.01	0.96	0.00	0.01	0.93
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(Q18)	0.04	0.39	0.06	0.05	0.20
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか (Q22)	-0.04	0.00	-0.11	0.15	0.03
今住んでいる地域の行事に参加している (Q24)	0.04	-0.02	0.14	0.14	0.05
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある (Q25)	-0.04	0.10	0.28	0.02	0.11
勉強について不安を感じた (Q64)	-0.05	-0.08	0.28	0.08	0.07
計画的に学習を続けることができた (Q65)	0.06	0.19	0.58	0.04	0.53
規則正しい生活を送っていた (Q66)	0.04	0.05	0.66	-0.12	0.47
寄与率 (%)	0.09	0.09	0.13	0.05	
累積寄与率 (%)	0.09	0.18	0.31	0.36	

表6：子どもの生活状況調査項目の因子分析結果：中学3年生

	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	共通性
朝食を毎日食べている (Q1)	0.32	-0.04	0.07	0.05	0.13
毎日、同じくらいの時刻に寝ている (Q2)	0.64	-0.06	-0.02	0.17	0.47
毎日、同じくらいの時刻に起きている (Q3)	0.70	0.06	-0.02	-0.07	0.49
自分には、よいところがあると思う (Q6)	0.03	0.01	0.54	-0.10	0.28
将来の夢や目標を持っている (Q7)	0.18	0.34	0.17	-0.24	0.22
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦している (Q9)	0.29	0.13	0.41	-0.09	0.38
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか (Q17)	0.00	0.67	0.11	0.09	0.55
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(Q18)	-0.01	0.63	-0.15	0.03	0.38
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか (Q22)	-0.06	-0.14	0.30	0.01	0.08
今住んでいる地域の行事に参加している (Q24)	0.08	0.03	0.24	0.11	0.12
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある (Q25)	-0.09	-0.02	0.61	0.16	0.41
勉強について不安を感じた (Q64)	-0.02	0.04	0.16	0.08	0.04
計画的に学習を続けることができた (Q65)	0.04	0.27	0.06	0.58	0.58
規則正しい生活を送っていた (Q66)	0.31	-0.01	0.15	0.48	0.51
寄与率 (%)	0.10	0.09	0.09	0.06	
累積寄与率 (%)	0.10	0.19	0.27	0.33	